

誰でも！いつでも！いろいろできる

# こどもりもり

練馬区立こどもの森通信

vol.25

発行：PLAYTANK 2019年4月

所在地：練馬区羽沢 2-32-7

開進第四小学校ならび

時間：9時～17時（3月～9月）

9時～16時半（10月～2月）

WEB：nerima-kodomonomori.com

F B：fb.com/nerimakodomonomori 練馬区立 こどもの森

「こどもりもり」は、イベント情報やプレーリーダーからのメッセージを、5歳児以上と保護者にお届けする通信です。



## 大ピタゴラ装置出現！

いろんなものをコロコロ転がしちゃう！

みんなで作る！

自然素材で  
クラフト三昧

トンカチ&  
のこぎりで  
なに作る？

ざいもく  
材木たくさん！



ひか  
光る！  
どろ  
泥だんご  
づくり



プレーリーダーが  
いっしょにつく  
一緒に作って、  
でんじゆ  
コツを伝授！  
(～14:00)

ようこそ！こどもの森へ！！

はじめてさんへの  
こどもの森ツアー

4月20日（土）

5月12日、26日（日）

各回 10:00～

各ツアーのあと、10:30～

泥だんごミニ講座もあるよ。

荒天中止



来て見て安心♪

## こどもり フェスティバル

KODOMORI FESTIVAL

4月6日（土） ※雨天順延7日（日）

10:00～16:00 誰でも遊べるよ！

こどもの森は4周年。これからもどうぞよろしく！

フェスに来る前に、裏の利用案内も読んでね。

おも  
思いのままに！

じゆう  
自由に！

つく  
作るって楽しい！



つなひき大会

(15:00～)

子ども大人も本気の勝負！！



もりフェスが終わっても

4・5月は  
思いっきり土遊び！

毎週日曜

光る泥だんごミニ講座

13:30～14:30 ※雨天中止

4月28日（日）、5月26日（日）は

10:30～

4月28日（日）

5月26日（日）

夕ギさし大会

挑戦者待ってるぜ。

13:00～練習

14:00～試合

小雨決行



こどもりもり

## こどもの森の利用案内

- ★ こどもの森は、時間中いつ来ていつ帰っても OK。お金はかかりません。
- ★ こどもの森にある道具は自由に使えます。使い終わったら片づけてね。
- ★ おやつやお弁当を食べることもできます。ごみは持って帰ってね。
- ★ 汚れてもいい服や靴で来てね。着替えもあるといいよ。
- ★ なくなったら困る大事なものは、おうちにおいてくるか身に付けてあそんでね。



## 大人のみなさんへ

こどもの森から保護者のみなさんへのお便りです



春なので、自己紹介します。  
こどもの森は、  
ちょっと「変わった」公園です。

こどもの森は、今年で4年目を迎える「練馬区立」の公園です。他の区立公園とちょっと（いや、だいぶ?）違うこと、ご存知ですか。

### 練馬のみどりでたっぷりあそべます。

練馬区といえば、23区で最もみどりが多いことで有名です。練馬で生まれ育つ子どもたちに、あそびや自然体験を通して、みどりの豊かさや大切さを感じてほしい、そんな想いから生まれました。もともとキウイやクリ、ウメの農園だった場所なので、木々をそのまま生かして整備されています。

梅雨の頃には梅の実があちこちに転がり、秋には栗やキウイの収穫もできます。大きな木に登ってあそんだり、冬には剪定したキウイのつるで、クリスマスの飾りを作ったりも。

### プレーリーダーがみんなを待っています。

そして特徴的なのが、プレーリーダー（あそび場に立つ専門的な研修を受けたスタッフ）がいること。

一般的な公園は、大きなけがが起らないように、どうしても禁止事項が多くなってしまいます。また、子どもが元気にあそんでいると、トラブルが起きてしまうことも。これもまた、様々な禁止事項に繋がってってしまいます。

しかし、子どもが自由にあそび、時には困りごとに直面しながらも、様々な人と関わって育っていくのは、とても大切なことです。こどもの森では、プレーリーダーが常駐することで、禁止事項をできるだけ作らない運営を可能にしています。

プレーリーダーは、子どもたちが安心してあそべるように環境を整えたり、「やってみたい」という気持ちを大切に創造的にあそべるきっかけを作ったり、人と人がつながるように橋渡しをするのが仕事です。時に一緒にあそんだり、話し相手にもなりながら、全ての子どもがいきいきとあそび育つことが出来るように関わっています。

土や木、花などの自然に、鑑賞するだけでなくじかに触れてじっくりとあそぶ。知らない子といつの間にか一緒にあそんでいる。大人も居合わせた人と会話を楽しむ—こうした経験は、普段公園に行っても意外となかったりしますよね。こどもの森でなら、できるんです。あそびに来てみませんか。



## こどもの森名物 “あそび伝染”とは……?

ある日、ふらりと来た6年生の男子グループが穴を掘り始めた。その穴はたちまち深くなり、やがて横穴ができ始めた。洞窟のように横に向けて穴を掘り進めたのである。どんどんすくなくなっていく穴掘りがよほど面白かったのか、その後も何日も続く。危険のないよう三角コーンを置いたりして、まさに工事現場のようになったその穴は、子どもから大人まで、来園した人が興味深々と覗いていく場所となった。



はる

すると、その穴を見た別グループの4年生が「よし、俺らも!」と掘り始めた。同じような横穴構造で、連日訪れては、せっせと掘り進める。アイデアを取り入れるのがうまいこのグループは、別の子からもヒントを得て、地下室の掘り作業から一転、掘った穴の上に床板を運び、柱を立て屋根にシートを設置し、「2階建て」の基地を作りあげた。完成後、基地の中でくつろいでお菓子を食べる姿は「家か!」と突っ込みたくなるほど。

今度は、その様子を見ていた、2年生グループ。6年生の穴と4年生の穴の間に、「隣(4年生)がライバルだ!」と自分たちの穴をせっせと掘りだす。それぞれいい働きっぷりである。

やがて、その様子を見ていた幼児たちが小さなスコップで穴を掘りだす。ちびっこ作業員たちはお兄さんたちを横目でチラチラ見ながら掘り進め、穴の上に板を乗せるまでのものができあがった。

穴掘り一色になった土エリアを眺めながら、穴基地のパイオニア6年生は「やっぱり俺らのがすごいな。深さ、完成度が違う。大人も入れるからな。」と余裕の表情。あそびの“伝染”の発信源となったことが、ちょっと誇らしそうだ。

ひとつのあそびが、次から次へと伝染していく。「教わる」じゃなく「伝染」なのが、ミソ。だから、子どもたちのオリジナリティがどんどん乗っかっていく。それって、一人一人の「やりたい!」ができるこどもの森だから、起こっていることなんじゃないかな。ふと気づくと、1年生が6年生にあそびを伝染させてたりするから、おもしろいんだよね。

